

本体カバーを使用する

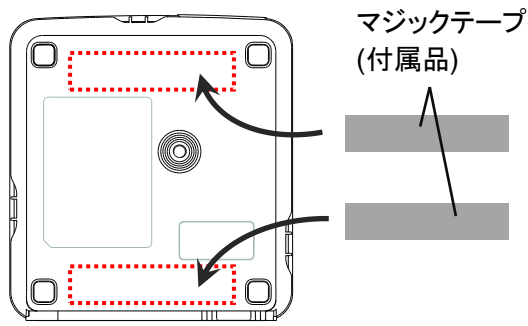
- 本紙は付属品の「本体カバー」の使い方について記載されております。
- ご使用に先だち、別冊「安全上のご注意」をよくお読みください。

付属の本体カバーの取り付け方と使用方法です。

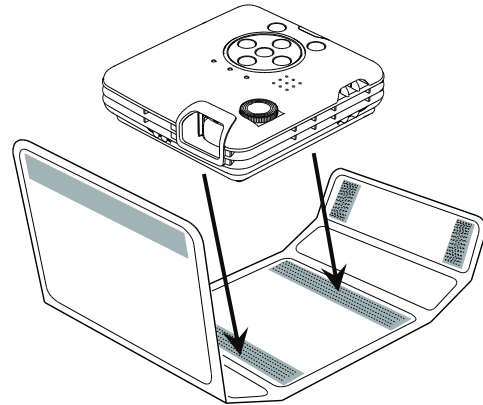
本体カバーは本機の保護と、チルト台としても使用することができます。

本体カバーの取り付け方

- ①本機の底面(下図の破線部)に、
付属のマジックテープを貼り付けます。



- ②本機を本体カバーにのせて完成です。
(マジックテープで固定します。)

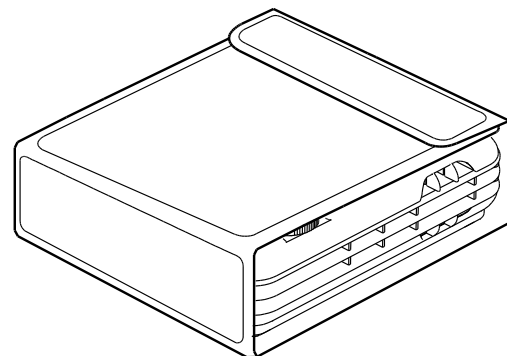
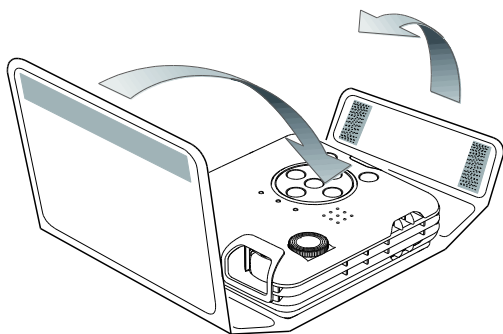


お知らせ

- マジックテープ貼り付け面にほこり、水、油分があるときは十分に固定できない場合があります。必ずほこり、水、油分を拭き取ってから行ってください。

本体カバーの使い方

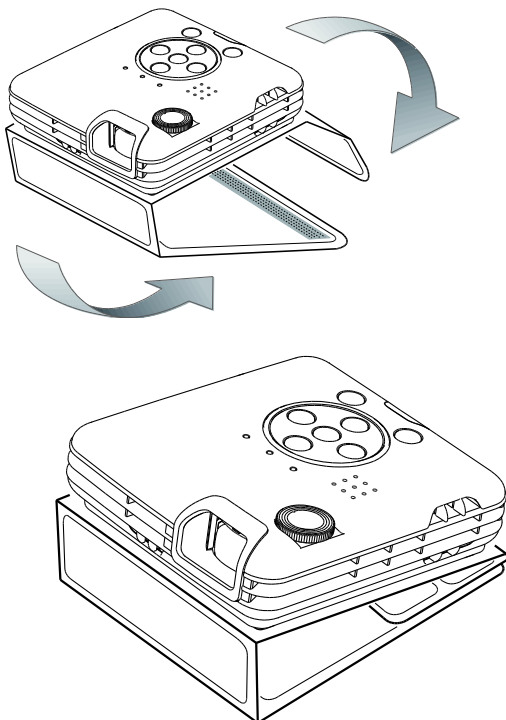
本機を包んで保護する



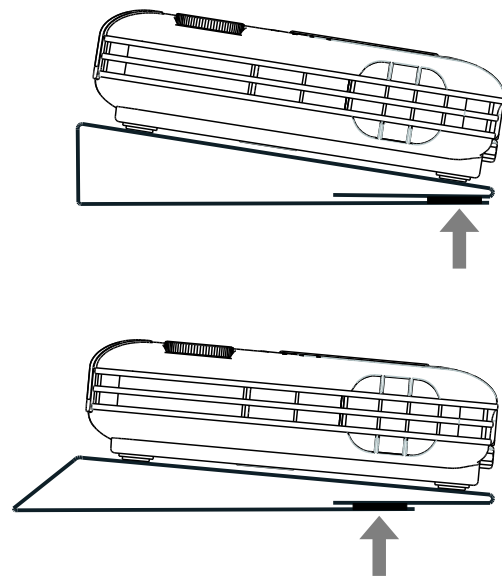
⚠ 注意

- 本体カバーを使用して持ち運ぶ際は、片手で本体カバーを掴んだ場合は、本機が本体カバーから落下し、故障する原因となる恐れがあります。必ず本機の底面を持つようにし、過度の振動や衝撃を加えないようにお取り扱いください。内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- 本体カバーを投写レンズにかぶせた状態で投写しないでください。本体カバーが高温となり、触ると熱でやけどやけがの原因となることがあります。
- 本機の電源を切ったあとは、本体がしばらくは高温となります。すぐに本体カバーで包むと故障の原因となりますので、本体の温度が十分に下がってから本体カバーで包んでください。

チルト台として使用する



◎マジックテープの止め位置で角度を調整



⚠ 注意

- チルト台として使用する際は、次のことを守り、安全にお使いください。
 - 投写レンズはランプの点灯中は強い光が投写されますので、目を傷める恐れがあります。特にお子様のご使用になる環境ではご注意ください。
 - 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近は高温になる場合があります、やけどの原因となります。